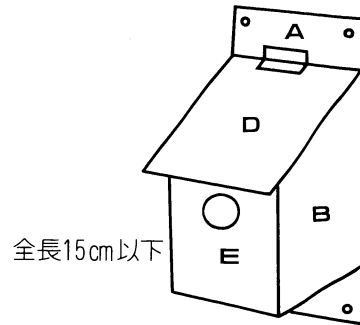


大自然なんでも観察ノート① ～スズメ～

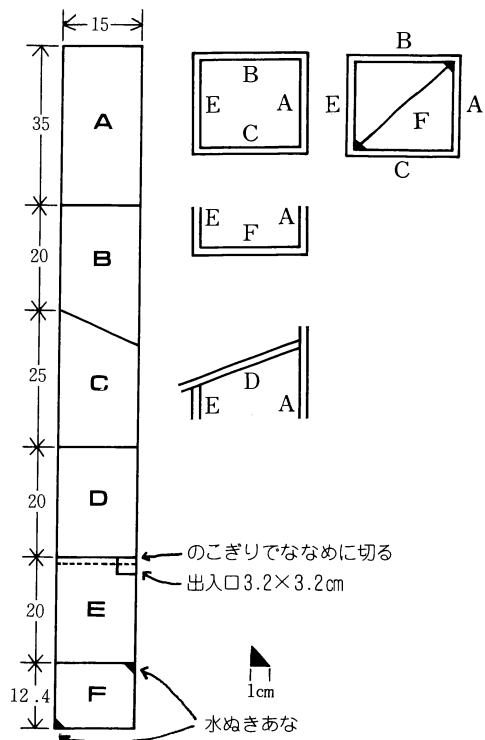
ぼくは、大自然の鳥、こん虫などが大好きです。大自然でどんな物だろうと思ってこの本を書き始めました。家の近くには、何がいるかな、なんびきいるかなあと考えながら書き始めました。

ぼくの家の中には、えさ台があります。毎日スズメが「チイチョッチョッジョッチ」と鳴きながらごはんを食べています。でも時々けんかをしてとてもうるさいです。ごはんをえさ台にのせてない時は、ごはんがくるまでまっています。でも、どうしてもこない時は、おこってきくの芽などを食べてしまいます。

前、はく物館で、巣箱を作ったのを庭の木にかけて、6週間ぐらいしたら、巣箱の中にスズメが入っていききました。それから、わらや毛を中に入れて、たまごを産む所を作っていました。それで、たまごを産んだみたいで親は、ほとんど出てきませんでした。それから、8日ぐらいたつと、ひながかえたみたいで、急にスズメの声でうるさくなりました。今度は、親鳥は小さなえさを取ってきて、ひなにあげていました。10日ぐらいたつと、ひなが大きくなって飛びたっていききました。それで、ぼくたちは、巣箱を取って、中を見たら、ふんがたくさんありました。わらや毛も、すごくいっぱいありました。巣箱をきれいにしてから、ぼくたちは、同じ木に巣箱をかけました。



巣箱の作り方



- 板は雨にあたってもいたまないじょうぶなスギ板をえらんで、あつさ13ミリぐらい。
- 巣箱は、人目につかない、太い木のえだが少ない所で、下から3～5メートルの高さにかける。
- シュロなわで、しっかりゆれないように、くくりつける。

(国府小5年 渡辺拓也)